

## 清瀬市まちづくり基本条例に基づく提言について

当委員会は、清瀬市まちづくり基本条例に基づく市民提案について審議しました結果、本提案を重要かつ早急に取り組むべきものであると判断いたしましたので、別紙のとおり提言いたします。

平成15年12月18日

清瀬市長 星野 繁 殿

清瀬市まちづくり委員会

委員長 袴田 敏雄

## 平成15年度提言書（その2）

### 第1 提言の趣旨

清瀬市まちづくり委員会は、清瀬市まちづくり基本条例第9条2に基づき、ゴミ減量化の為に、清瀬市指定の有料ゴミ袋を買物袋（マイバック）として使用できるよう、袋表面に印刷するロゴ・デザイン・色の変更を提言します。

### 第2 提言の理由

#### 1 市民からの提案

市民から、提言の趣旨記載のように、マイバックに関する提案が2通ありました。  
（別紙参照）

#### 2 ゴミ減量化の必要性

（1）少子高齢化社会を目前にして、地方自治体は益々福祉にその予算の多くをさかなければなりません。しかし、税収の増加は期待できません。

そんな中で、行政と市民が一致協力して出来る事は、市の支出の中で大きな割合を占めるゴミ処理経費を削減すること、つまりゴミの減量化です。

また、ゴミの減量化は地球環境を守ることになり、地球の資源には限りがあります。国も推し進めているように、これからは資源循環型社会をめざし、地球環境を守るために3R（リデュース、リユース、リサイクル）が重要な課題となります。

（2）すなわち、清瀬市指定ゴミ袋をマイバックとして数回使用することにより、買物の際使用するレジ袋というゴミを発生させないこと（リデュース＝発生抑制）につながります。

レジ袋は杉並区でも問題になったように、ゴミとしての発生量（容積）が多大了。ゴミが有料化される以前はゴミ袋として多少は再利用されていましたが、また今も生ゴミ入れ等として指定ゴミ袋の中に入っている例も多くみられますが、現在、そのほとんどがゴミそのものとなっています。

また、ゴミ減量化の為にすでに清瀬市は指定ゴミ袋を有料化するという政策をとっていますが、この方法はゴミ袋という新たな使い捨ての「ゴミ」を生んでいるという面もあります。

発想を転換し、指定ゴミ袋をレジ袋代わりにマイバックとして使用した後にゴミ袋としてリユース＝再使用するというのが今回の提言です。

### 3 マイバック運動の推進

(1) しかしこれまで、マイバック運動がなかなか広がらなかったのも現実です。そこで、市はまず、指定ゴミ袋を使いやすい、マイバックとして使いたくなるロゴ・デザイン・色の印刷に変更して下さい。(参考として添付資料参照)

また、同時に市民に対してあらゆる方法で啓発と広報を行って下さい。指定ゴミ袋をマイバックとして使う事で、市民のゴミ減量に対する意識向上を図ることは大変重要です。

また今後、市内の商店会、業種組合、大規模はもちろん中小規模のスーパーマーケットや、各種団体にも呼びかけ、マイバック運動を推進して下さい。

(2) なお、市民からの要望がある、現在指定されているサイズの袋のほかに、より小さなサイズの袋を指定に加えることも付加して提言いたします。

(3) 指定ゴミ袋をマイバックとして使用する運動は、全国初の試みであり、また市の新たな支出増もないことから、すみやかなる実行も含めて、提言するものです。

(添付資料)

## ゴミ減量化に関する提案

### 市指定のゴミ袋を買い物(マイバック)として利用できるようデザインを変えてもらいたい

ゴミの減量化は、私たちが暮らしていく中で、また、市政の中でも大変重要な課題だと考えます。スーパーや店舗から出るレジ袋は、ゴミとして出されるので、このゴミを少なくするために、マイバッグ運動が進められていますが、なかなか普及していません。そこで、市が作っているゴミ袋をマイバックの代わりとして使えないかという提案です。実際にモニターしてみた結果、十分使用できます。デザインを変えれば。

ゴミ減量、リサイクルは、各自治体・個人で積極的に進められていますが、必ずしも十分とは言えない現状にあります。市民一人一人の意識向上を促すためにもこの方法を提案します。

### 清瀬市独自のマイバック製作とそのデザインの公募

- ・現在使用している、緑・黄色のゴミ袋は、もうすでに市民に認められた存在になっているので、説明のところをデザイン化し、捨てるためだけでなく、買い物袋としても使用してもらうために、もっと違和感のない、持ち歩きたくなるようなデザインを公募する。

(実際に有料ゴミ袋を使用してみたら、4～6回は使用できる。友人は8回使えると話している)

- ・このデザインコンペの表彰は「ごみ減量のための実践と提案の発表会」でおこない、市民だけでなく、子どもたちからも募集し、参加してもらう。
- ・お店や市民活動のPRを載せてもいい(有料でプリントする)